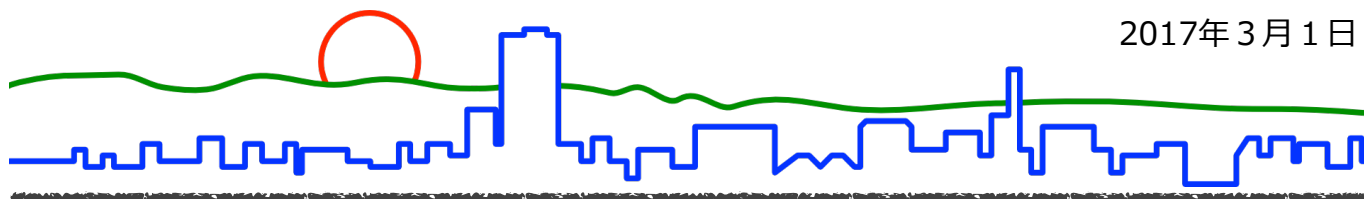


2017年3月1日



納税とカジノ法と私

はちおうじ総務相談所の長岡です。みなさま、確定申告はお済みでしょうか。昨年の私は給与所得がそこそこありまして、しかも乙欄で所得税が引かれていたために、またしても「納税額<還付額」になってしまいました。次こそは、不等号を反対にしたいところです。

さて、いわゆる「カジノ法」が、昨年末の国会で成立しました。統合型リゾート（IR）も含めてかなり大がかりな事業になりそうですので、そこにいろいろな仕事も生まれてくることでしょう。世の中の動きとして、今後も注目していくべきかなと感じております。

街にパチンコ屋と宝くじ売り場があふれている中で、ルーレットやポーカーなどが解禁される点だけに絞って議論するのはあまり意味がない気もいたしますが、やはりギャンブルで身を滅ぼすような人はなるべく少ないほうがよいと思います。

この件に関して、「所得に応じて（日本国民には）入場制限を設けるべき」という意見を目にします。これに対して、私は所得よりも「納税額」を基準にしたほうがよいかなと考えております。前年の納税額が多いほどレートの高い賭場に入れる仕組みにすれば、大きな勝負をしたい人たちは、がんばって納税してくれるでしょう。また、上の部屋に行くほど高級なサービスも受けられるようにしてステータスを高めれば、特定の人たちがさらに税収を増やしてくれそうです。ちなみに、納税額の確認には、マイナンバーカードの活用がよろしいかと。

それはともかく、私も10年ほど前まではパチンコ屋などに出入りしていたものですが、最近はまったく興味を感じなくなりました。原因はおそらく、自分の事業自体が不安定で、つねにギャンブルをしているような状態だからではないでしょうか……。



これも観光資源でしょうか。

今月の予定（2017年3月）

15日（水）所得税の確定申告期限

今月の推薦図書 vol.18

『賭博者』

フョードル・ドストエフスキー 著・原卓也 訳 1969年 新潮社

およそ150年前の作品です。ロシアの上流階級にある人たちが、ドイツのカジノ街でいろいろと騒動を起こしていくお話。架空の町が舞台なのですが、名前は「ルーレテンブルク」ということで、みなさんルーレットに興じて（狂じて）いらっしやいます。

遺産を巡る将軍一家の争いや、その娘と若い家庭教師の愛憎劇などを中心に話が進んでいくわけですが、なんといっても読み応えがあるのは、登場人物がカジノで身を滅ぼしていく様子です。実際にのめり込んだ経験を持つドスト先生だからこそ出せる臨場感ではないかと。

いわゆる「ビギナーズ・ラック」などで大勝ちしたときの興奮が忘れられず、「勝てばすべてを取り返せる」という考えに取りつかれて財産をつぎ込んでいく人たち……。ギャンブルで我を忘れた経験がある人ならば、理解できるのではないのでしょうか。

同じような感じで、事業がうまくいなくても、「いつかは回復するかも」と、赤字を出し続けてしまうことがあります。やはり、新規事業を始めるときなどは、「損失額がここまですなったら終了」という「撤退ライン」を設定しておくことが重要だなと感じました。

今月の推薦映画 vol.18

『バグジー』

バリー・レヴィンソン 監督 1991年

1940年代の半ば、当時は砂漠の小さな町に過ぎなかったラスベガスに、最初のカジノ付きホテルを作ったマフィアの物語です。それから70年後の現在、カジノを中心とした巨大なリゾート施設に世界中から人が集まってくるのは、誰もが知るところでしょう。

砂漠の中に立って風景を眺めているうちに、そこにカジノ付きホテルを建てる構想が、主人公の頭に浮かんだようでした。フーバーダムによる電力供給や有名人の集まるハリウッドに近い点なども要因なのでしょうが、そのあたりは「天啓」の一言で済まされています。

ただし、本人は成功を確信していたようで、周囲の疑問や心配をよそに、夢の実現に向けて突き進んでいきます。このあたりの展開は、『スティーブ・ジョブズ』と近いものがありますかね。こちらはマフィアだけあって、手段の選ばなさ加減はさらに上ですが。

こだわりが強すぎたこともあって当初の予算を大幅に超過し、最終的には、出資者に裏切られてしまいます。本人は回収可能と考えていたようですが、理解を得られなかったのでしょうか。やはり、利害関係者に対しては、事業計画をきちんと説明することが重要ですね。

編集後記

今回は思いがけずカジノ特集になってしまいました。書き始めたときは「これで最後まで書けるのか？」と不安になりましたが、一か八かで筆を進めてみたところ、意外とまとまったような気がします。まさに賭けでしたね（勝ったかどうかの判断はお任せいたします）。

それはともかく、本と映画の紹介文を書いてみて、経営もギャンブルも「判断力」が勝敗に大きく影響することをあらためて感じました。あとは「冷静さ」でしょうか。何はともあれ、ギャンブルみたいな経営は早く卒業したいと思う今日この頃です。